

「東日本大震災の体験談と復興への想い」応募用紙

氏名 佐藤 寿美 年齢 9歳 職業・学校名 相模原小学校

東日本大震災があ、た、3月11日は朝は家
うち園から聞。こきてこたつに入。てりまし
た。2時46分に最所の地震かまですぐおさま
るたろうと思ひその場にじ。としていたか、
なんじも地震かまて外にてたらどうかふ。
こきて妹とお母さんと三人でいたか、おばあ
ちゃんの家に行きました。頬をみた時、とて
ち安心したのを、今ひも覚えています。

水も使えなくて、とても不便でした。後か
ら原発事故やつなぎでたくさんの人気が止くな
つてとてもかわいそうだと思いました。

原子力発電所で電気が作られてるけど、
私は、ほうしゃのうか地震やつなぎによ
られてしまったら発電所をなくしてひばな電
気を使わないので大事に使いたいと思います。

十年前に一度の大事件だけれど、もう家の食器
だからたくさんが皿が壊れてやかわれた
はへんで。はいで、家のなかがやけにはてた
つらさと泣いたこわい風は、日うつびの()
たくさんあります。毎年慰めをしたりと思します。

私は東日本大震災の時はようち園の年長でした。そのとき私はピアノの日でした。私の前の子がやっているときでした。まもなくやかんがゆれじしんだとわかったら、つくえの下にもぐりこみました。ショーケン室の先生たちもきました。ちょっととしますまりがえったが、バスに移動しました。ピアノをやっている人たちにはどうしたんだろうといふいろいろ考えました。ピアノの先生やお友達がでてきてバスの中へ入りたかったです。けれど、みんな子たちがあむかえにきてバスの中は子供3、4人、先生2、3人がいました。先生はいるけれどとても心はそがつたです。母があむかえにきて私には妹もいたのであむかえにいき妹は先生におんぶされました。その後のあとは母のじょくはにいきました。いろいろお手伝いをしました。母のじょくはも水がひなくなってしまった。平和をねむにねむいさうと協力を感じながら頑張りました。福島県も日本もみんなで協力していきたいで

「東日本大震災の体験談と復興への想い」応募用紙

氏名 蛇川 純麗 年齢 10 歳 職業・学校名 相模原市立小学校

東日本大震災を体験して

わたしは、5歳の時に「東日本大震災」を体験しました。その時は、ようち園から帰ってきて、おばあちゃんの家にいました。

わたしは、こなくてこなくてしかたがありませんでした。その時お母さんはイタツリ工事が長かっていておうちからおばあちゃんからは近づいたので、家に帰ったら家の中がすごいことになっていました。

わたしには、妹がいます時は、しされを体験していいないので大きくなったら教えるといいます。

わたしは1年生くらいの時に相模原市に行きました。家屋などが流されたあとがありました。そこには、花火とかおがんこでした。だから、一回も早く復元してほしいなと思います。

氏名 稲葉 萌心 年齢 11歳 職業・学校名 須賀川市立柏城小学校

東日本大震災を体験したとき私は、ようち園からお家へ帰るとちょうどでした。バスにのっていて地震がきたので、ひっくりがえりをうで、こわくてたまりませんでした。お母さんにも会っていなさいのでさらにこわかったです。バスがやっと家についたとき、やさしいお母さんの顔を見れてホントしました。家旅全員ケガなく済みました。私は、熱をその後出しました。本当に小さい地震でも立ちあがっていました。でも私は、大きくなつてから気が付きました。周りの人々にすごく支えられしていました。私の、おいしいちゃんがほうしやせんのこと教えてくれて、千葉にひなんがそりんしました。ガリリニをおそば屋さんが持てまってくれました。小さいころは、何も気が付くことはなかつたけれど大きくなつてからずごいことだなと思いました。

私がしょう来住きていて、もしも地震がおきたら、おんがえしをしたいです。

「東日本大震災の体験談と復興への想い」応募用紙

氏名 松浦 楓華 年齢 11歳 職業・学校名 相模小学校

1055

これから未来へ向けてできることがあると
大地震が起きたのは、2011年3月11日
でした。わたしはまだようち園でした。
大地震が起きたとき、家にお母さんと妹とわ
たしでいました。お父さんは伊豆へ行っていました。
そして3人で外へ出ました。すると、
車がはねていろいろにゅれついて、電柱もぐ
ラバラとゆれていました。とてもこわくて
泣いてしまいました。わたしは、今思い出し
ても、とてもこわくて、大変だったことをは
っきりとおぼえています。

福島県にはまだ家に帰れない人や、家は帰
れても大変な暮らしをしている人がたくさん
います。また、自分の家族をなくして悲しん
でいる人もたくさんいます。わたしは、そんな
おまちに勇気をあたえるような活動をして
いきたいです。そして、明るく笑顔のあふれる
福島県にしていきたいです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 あらいくだ 年齢 7 歳 職業・学校名 いぐくじゅうがく 学校

ぼくは、しさのと、まだ泣けて、
ほとり、おぼえていません。でも、うみの
、ちかくをとかしたり、えき向なんなくなり
しているのをみるとほんとうに大きくなりました。
とつをみが、たひだ灰とかもいました。
つなみで、うみがわってしまってかい水よ
くわでさせん。はやく、もとどおりになっ
てうみでこそひたりります。

ぼくのおとうさんは、せんせいまでいって
でんしゃがないのでこうそくはまでいかなくて
います。しかしえきがまこしきつできて、
せんきもできてきて、はやく、でんしゃでか
いしゃにかよるといいです。ぼくもでんし
やにの、てとあとまでいってみたいのです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙
氏名 あらひは)

年齢 7 歳 職業・学校名

ふくだ小学校

わたしは、じんさいがかったときも書いて
いた。そのときは、あまりおぼえてい
ません。

でも、サヤリンの音だけは耳にこもっています。
そのときは、ないではやりいたと、おか
おかんからききました。

おもしろが大きくな。だから、カメラにの
うつせたえいどうを見て、じんのことをおさ
けました。じんがあきてから、おじいち
ゃんは、ほいくしょにいたわたくしも、おかえ
りまでくれました。いえについてあとに、
「つなかがすごい、いまおいで。いえのまえ
まできたんだよ。」

そして、きててこわくなりました。

また、じんが生たらわたしはどんなよう
なおもい、がくじゅ先生、ともだちとじん
やった。外が生たときのことを、はなしをいた
いとおもい生した。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 目ぐろ なな子 年齢 7歳 職業・学校名 ふく田小学校

わたしは、小さかったのでおすれてしま
ました。でも、ひがし日本大震災いけたい
へと力をもとめないとモりました。七
歳がまたあきたらいじが人のみちじふんをま
もりましょう。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名すずえりか 年齢 7 歳 職業・学校名ふくたじゅうがくぶ

わたしは、あの大震災のとき、まだ小さかったです。そのときは、小さかったのでおぼえていません。でもときどきテレビでながれるつなみのえいぞうを見ると、とてもこわいです。わたしのいんせきの人たちも、あのつなみでなくなっていました。わたしは、そのころのきおくは、おりませんがいまでもりんは、大きくなります。だから小さないんでもあがさんとのころに、はしゃいでいってくださいます。わたしは、もうみんな大きいりんは、こないでほしゃいとおもいます。これからいんちまちをしんさいまいりも、すばらしくかるい町になるようにわたしたちも、きょううりよくしていきたいです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 杯 たかと 年齢 9 歳 職業・学校名 福田小学校

ぼくが3さいのときにはじしんがありました。
そしてつなみがきてたくさんの人があなくなりました。
ました。いえがつなみてなくなります。でも
ろがなくなよ、た人もたくさんいます。いまは
町をもとどおりにするのにたくさんの人のが
たらいいでくれています。まだまだじかんがか
かりますかほやくまたきれいな町にもどり、こ
ほしいとおもいます。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 ありりいわ 年齢 6 歳 職業・学校名 ふくだ小学校

ししゃが木でんせきのへやで
なにかあそびたいからといつてやうと
がんぐあいへんたとおもひました。
じぶんが木でんせきをこれでかえし
しごこせます。これからやまとでなはげ
いがふ一木があがみでるのむらには
ほらんすわよろよ。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 さとう まい 年齢 6 歳 職業・学校名 ふく田小学校

おかげで日本大震災から、二としの三月十一日で五年になります。

震災のときは、まくはまだ二歳だから、からその日のことはあまり覚えていません。まくはまだ二歳だから、

これからいのん町には、まだこのままでつくってほしてます。

また、元気も早く大きくなってほしてます。

なぜなら、かづくみんなでいのん町から、でん車にのり、3月11日をところにいいておたらいからです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 沢山 あらはる 年齢 9歳 職業・学校名 ふくたいじゅう学校1年

おたしは大いしんのあと、かぞくとなしか
いもひなして、2年まえにふくしまに移り
てきました。ほいくじょとかあったので、
なかよくな。たまたまだれとおめりあしたと
きは、ほんとうにかたしがったです。

いま、ふくしまでかぞくとくろしてます
が、大きくな。たらおあかれたあとまだち
におじにいきたのア、はせくでん車がてお
つてほしりです。ふくしまにきて、てくらま
えには、山なしけんにいたので山なしけんに
でん車で、てみたハです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名さくらりん 1年齢 7歳 職業・学校名、幼稚園

さいがいにあ、たときには、さいさかの
のびやれたのがこわかったです。

あとつづみがきて、うみにいえがながされて
いるのを見ました。

それが5年がたち日丈は、土壟たかくして
るところを見ました。まきとは、うがうまう
のまうけいになってます。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙
氏名 さくら ゆづり 年齢 7歳 職業・学校名 ふく田小学校

わたしは、まだ小さかったので、東日本大震災のことをおぼえていませんが、ここで五年たつをうです。二さいだったわたしも、いまは小学一年生になりました。しんせりのとき、ふくしまは、つなみやほうしゃのうのえいきょうで、たくさんの人たちがひなもしなければいけなくなりました。でも、きよ年の中月すきにちづくにあつたかはづじゅうたくもなくなって、おおくの人があたらしくいいえをたてたり、さいわいじゅうたくにすんだりしてります。そして、つなみでながされてしまったらんちまちのえきもあたらしくつくられていて、もうすこしてつながるそらです。学校でみんなといらっしゃうラジオしばか見わたせる天文だいにかけてるえきがきました。みんなでかけたえはとてもきれいでした。そのえのようには、きれいでえいががたくさんのがくしまやらんちまちには、てほしいです。

1065

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

匿名希望

かうじに来たじよしは、大きだじよ
キタカミと下をながめがせめた。その大
きなうなみでたくさんものもござる
幸せだ。これからまた大きさが大きくて
長いトモノのいうことをじつと書いて
みんせん本題はなんにあつた。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名あら らりか 年齢 6歳 職業・学校名不^ノ島田小学校

大いんさいやあ、たこやわたしは、うれしくて何をがぶえていいかにけど本当にうれしくて一生やすれられたいことががこります。何をたずさけん、アルアドニモナラス、山をたてて家がわからずやでそなれ山がたにひかくしたじ東だるもがたてて大島でひこかちがうやまににぎりしまつたててはなりばく田いきじくのかたしが一番にひつてはる二とせき、じつにやうじててせきでせきう二十じきだは二、スニイカニシキニセキニシキ思ひ。ひさやたてがいとやうじてじてひくじを見たことです。時館はキミやなにし、しも人のやにがたゆるにし、いつ何があつるやうやかにつけ今がたしにでせき、アサザ海田漁してすうじます、うでやがたにひらひちくつせんす、うなぐわせでせき一で漁し人や、うがの生活がんじやまくら。えいだがれがれ、えいれのうねうがたをうかがうておらうにがたれはににがたえに書ます。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 木田 ゆめ 年齢 8 歳 職業・学校名) く田小学校

今新地町では、113人がところでおさんな工
作をしています。その中でもわたしが、せん
うができるのが樂いみたいです。今までせん台
へ行くのに新地からバスにのって電車にのり
か玉なければいけないが、たのかのりがえがな
くな、でとてもペんりになろうと思ひます。か
らつうよていは、今年の12月のよていでです。
今までのせんうとくが、て高いところを走る
のだがゆがよきそうです。わたしが電車に
のって、てみたいくろは、やき山どうぶ
つとうみのもり水をくがんです。2かし
ともちがてつ東西線でいけるところなので、
はやく家で行ってみたいて。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 うがわらまな 年齢 8 歳 職業・学校名 不属 小学2年

あの東日本大震災から、間もなく5年になります。わたしは今8歳の小学2年生ですが、震災から今までどうゆうふ、こうをしてきているのは、正直あまり分かりません。ただ、知っていることがあります。震災のあと、自分の家を出なくことはいけなくなっていて、今もかせつじゅうたくでくらしている人たちがたくさんいるということです。早く、元の生活にもどりたいと思うのに今もなれない土地で生活していることはとてもたいへんつらいと思います。かせつじゅうなくで生活している人たちみんなが元のすんでいた場所に帰れるように、町が早くきれいになっていくことを、わたしはいのてります。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名よこもとゆき　年齢8歳　職業・学校名不~~福~~田小学校

このがし日本だりしとさりてあたしのおなあ
 さんのおかあさんの川木がながされまひな。
 そのけふのとなりにあたしが大ききたつたは
 ねけがありました。はせげほほ、トスド、やき
 ルアリ、すりか、とまきらむしらりるりうな
 もさけばうてありました。

らみさりがきたときはおばあちゅんはゆ
 とちんで、おじいちゃんはテレビをみて
 いたそくです。そしたらおじいちゃんがテレビ
 をみながらおばあちゅんに三うりいました。
 「ゴホ、てうるさいな。」といって、外にでて
 みたら、おしくおえでんちゅうよりたがり
 がれきをまじった水がおじいちゃんとおばあ
 ちゅんにびんでかられてきて、おじい
 ちゃんがうつむけにげるで。」といっておば
 あちゅんにさけんでけいトラックでにげまし
 た。だからおじいちゃんとおばあちゅん人は
 なみがらのびれることができました。

これからまたが、いろいろこうえんとや
 がてたり、おとねがたのくわゆうなふしだが
 いいと思います。

(20文字×20行)

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名すずかわかな 年齢 8歳 職業・学校名 ふくだい小学六年

わたしは、いまよりもみんなであります
やさしい町にしたいです。そんな町になれる
うまいせいをやましくしたり、自分から
おしゃつをしたり、こまっている人かいたら
たすける。この3つを、わたしは、がんばって
いきたいです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名さとうはるさと 年齢 8歳 職業・学校名

福田小学校

ぼくが今樂しみにしていることは、新地え
きが新しくてきることです。

5年前、地じんのつなみによつて新地えき
がながされました。そのため、しごとや学校、
りょ行などで電車をつかっていた町の人たち
は大へんな思いをしてきました。

新しくえきができて電車が通るようにな
たら、町の人たちが出かけやすくなるだけで
なく、ほかのけんからの人たちが新地町にお
そびに来てくれるのではと思いました。たく
さんの人たちがあそびに来てくれるここと、
きっと新地町が明るくなってくれるとうれし
いです。

ほくは、電車にのつて出かけたことがあります
せん。新地えきができたら、處そくや友だ
ちと電車にのつていろいろな町へ出かけてみ
たりです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名めぐらわいい 年齢 8歳 職業・学校名 ひらくだいがくひらく

ほくの、おかなさんの、おじいちゃんと、お
はなちゃんのいえは、ながまれてけれど、こ
どしのまへうがつあたりしい、いえで、お
じょうがつをすみました。みんなとごはん
をたべてすごれました。
みんなえがおですごせて、うかってです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 かぐわかなち

年齢 8 歳

職業・学校名 ふくは小学校

ぼくは、2011年3月11日は、ほいくしょり
りってました。地じんがきてちょっと泣き
かってます。でもなんせいちからすでに
ねたかみちよつとおれしまして。
そのあと近くなみがきてけんぱつがほとはつ
しました。それでくまは人ややまとがちぎれ
りました。

これが山本、海のほうはついがさかくしてつ
ねがきてほしくなります。
ぼくは、もしもしんやさしいがしがあったとき
にあせらすひなんてまるよりにくんぐんと
泣きます。うそしてものはやいは、こうちるがう
ります。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 すずき そうけん 年齢 8歳 職業・学校名 ふくしまうがつこう

ぼくのすんでいる新地町は、東日本大震
さいのつなみで海の近くにすんでいる人の家
がながされたり、はだけや田んぼががれき
だらけになりました。

2016年3月11日でしんさいから5年
がたちます。この5年かんご家をながされた
人たちが新しく家またてたり、田んぼやはた
けをまた作れるようになおしていいます。新し
い新地えきができてでん車ちはしります。

ふつこうとは、いちどいきあいをうなづ
きものからたたかせかんにすることをいふそ
うです。

ぼくは31、こうで前よりもにぎやかでさか
んな新地町になつたらしいなと思います。そ
れは新地町だけではなくふつこうをしているほ
かのまちもそなればいいと思います。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名上川いへ

年齢 8歳

職業・学校名 新地町立新地小学校

東日本大震災からもうすぐ5年がたちます。ぼくが5歳になりました。新地町は、たくさんの人たちのおかげで新しい家や大きな公園になりました。ほくは小学校でぼくさりとてこうえんのこんばん台にかかる絵をせんじんみました。力しこがきました。とても上手になりました。見た人が楽しい気分になつてもらいたいです。これからも新地町が明るくていよいよたくさんいる町になつてほしいです。ぼくは家の出てつたりをするニコからがんばります。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 藤 悠月 年齢 8 歳 職業・学校名 福田小学校

大きな地じんがきてから5年がたちました。
ぼくはそのころちいさがたけれどこわが、
たことは、おほくなりました。ぼくはしょ
う町がきれいな町になりました。
あと公園とかよくか売っているおみせがあ
ればいいなと思いました。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 田山みのり 年齢 1歳 職業・学校名 ふく田小学校

ちたちは、しんせりの時、2歳でした。3月19日に3本になりました。せり玉のひめひはん先の高島台きの家のケーキを食べました。クエさんのケーキでした。見た時おとしは、クマさんのケーキがこわくてねりたまうびき。しんせりのことはあまりおぼえませんがねい。がねしが、こととこおが、たこヒキうこくだけおぼえます。しんせり後、たくさんの人たちからもしたさをあうんじてくやえました。たくさんのがんばつや本、めぐる本をもらいました。ちばれはうんしかつたです。

小学校では廢ササゲのホール12月11日11月11月の大学せりがよく知れました。わたしは、来年も11月11月の大学せりかをくれると11月でます。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 佐藤 菊里 年齢 9 歳 職業・学校名 福田小学校

東日本大震災から間もなく5年…

たくさんの方々の方をかりて、ふ。きゅう作業が進み、元の町に近づいてきているように思います。

私は、この震災で、色々な「かなしい」「さみしい」「かわいそう」な気持ちになりました。たくさん的人が、つ波のきせきにならなくなりました。原発のえいきょうで、他の町で生活している人たちもいます。これが新しい出来事から早くみんなが元の生活にもどれるように、そして、元気になるといいなと思います。

でも、震災でたくさんの人たちに出来た事も出来ました。(保育所では、イスラエルの人と遊んだり、マレーシャンの人たちを楽しませてくれました。) しんせんしてくれた人たちのおかげで、たくさんゆうきをいたしました。

さい後に、これからこまっている人がいたら、力になれることになりたいです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

1080

氏名 林 紫音 年齢 8歳 職業・学校名 福田小学校

東日本大震災からのふるこころへの想い																			
東日本大震災から4年たちました。																			
つなみがきて、おうちが流れきながか せつにいて今は、かせつか少しづつなぐな てきました。																			
わたしは、かせつがよくなって、おうちが いいねいたてあるとおなじがふえるので おうちが早くたてあうといいです。																			
元じゃなくて、それよいも、もっどちがう 明るい、嬉しい時にしたいなと思いま した。																			

(20文字×20行)

2011年3月11日。東日本大震災。

その時、わたしは、原町に住んでいてまだ4才でした。すごい地震だったことは、すごくおぼえています。でも、他の事は何のことか分からなかっただけで、とても不安でした。

半年ぐらい、お母さんの実家にひなんしていました。ようち園の時の友だちに会えなくて、とてもさみしくて泣いていたのをおぼえています。

その後、新地町にひなんして、かせつ住たくに住みました。お友だちといっしょだったのでとてもうれしかったです。

今わたしは、3年生になりました。たくさんのお友だちと毎日楽しくべん強をしたり、遊びなど出来てとても幸せだなと思いました。でも、今でも地震が来ると、大震災の時のこと思い出します。

大震災は、いやなことだけ、ぜったいにわすれてはいけないことなので、大人になったら子どもたちに教えるあげたいです。

氏名 鈴木 マユ花 年齢 9 歳 職業・学校名 新地町立福田小学校

東日本大震災から
鈴木 マユ花

3月11日に東日本大震災がおきました
わたしが、ち才の時夏にたまご先生のいふ
かとを聞いて、外に多くできました。冬にじ
人がおきたりびっくりしました。わたしは
女房でうまいました。この人が大きになりました。
人は始めてみんなこうなったからちょうど。と思
ていました。私の嫁、びっくりしたのをとお
りこしてすひとてやくだってきました。海を
見てせわら、つかれあがつてくろすみに
せきうちにはまつてました。東日本大震災
がおのづかね。毎日いつてせわら、これが
海上にいた生き物たちがいはいありました。
昔よく行くがわさんと聞いてました。たく
せんの人々がたくさんでせわらしました。わ
しにたまたまにありました。自分の家にそ
がえればいいとこの震災とやめしがあります
せんじた。彼らはてまつくならせます。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 橋山香美 年齢 9歳 職業・学校名 福田小学校

かたしが東日本大してたこにかかづらひ
4才からとてた。今は、18歳で海で泳ぐ
世人が、こんなことをいふことを知る
方が多くいるから、まだ行く
? 今、この震災でたくさんの人が亡
すのに泣いていた。だから自分がうれしく、うれ
しくなる。でも、かじつをうけた人が死んで、うれ
ずが死んでしまう。それが、うれしくない
をナセてもうまくいかない。うれしくない。
世人が、かじつをしてしまった。今、何がうれしく
ない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。
うれしくない。うれしくない。

かじつ。

(20文字×20行)

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙
氏名 松本心 年齢 9 歳 職業・学校名 福田小学校

東日本大震災さんはすごくこわがつたで落
しんさいから5年目に入ろうとしている今、
ふつこうはまだまだ時間がかかると思います。
だけど、少しすづつ道路や海、たて物がきれい
になってきていらのがわかります。人の力は
本当にすばらしいと思います。今のわたしに
できることは、ふつこうに向けてがんばって
いる人達をおうえんすることです。

道路には石やすなをのせてるもヨツタがい
つはいです。ふつこうに向けて作業してい石
のだと私は思います。そして、新しい家もたくさん
ふえてきました。わたしのお父さんもしゃん
せいでこわれた家や新しい家を作っています。
お父さんは、「新しい家を作らより、こわれ
た家をなおす方が、時間がかかりだよんだ。
と言っています。でも、お父さんのおかげで
家が元通りになれる事た往めるようになります
しいと私は思います。

わたしたちの町は東日本大震災で大きくなりに会いました。家をながされた人や、家族をなくした人などがいます。でも、わたしたちの町、新地町はすぐくじける町ではありません。

すぐに、海に公園を作ろきかくがはじまり、どんどんプロジェクトを始め、たねから畜で公園にうえることに町の人それから小学生も学校で育てています。わたしの学校は、今全校生で92人、来年は、79人になるかもしれません。

せん。でも、いつも元気に学校にかよっていきます。

この東日本大震災でひがいにあった町はほかにもあります。でもそのみなさんもわたしたちのようにくじけないでください。わたしは、新地町、福田小学校ほこいに思います。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 サトウアリエ 年齢 9歳 職業・学校名 福島小

2011年、3月11日に、東日本大震災がありました。わたしのふつこうへの想いは自分でボランティア活動が足なかつたことです。私は遊びたかったし、生活にはこまらないけれど、下自由な生活の人はたくさんいるはずですよ。あと4年後、ぐらいで、新北の駄ができると思います。なので、そこもボランティアがあつたらさんかんがれてしまいたいです。まだ、また、ボランティアにさんかんがれたいです。これは、ボランティアの所ですよ。

あと、もう一つあります。それは、みんな安心できる、土地づくりをしたいことです。わたしのつるしのあはあちゃんの家があるかされた所は、ぐんぐりをうめた、所になつています。なので早くやきるように、やきるだけボランティアをしていきたないとおもいます。これからも、ボランティアレツづけたりとおもしりま事。みんなの力にながれるように、レツづけたりしていります。

氏名 庄司歩未 年齢 9歳 職業・学校名 福田小学校

2011年3月11日大きな地震が起り、地
震も終っていないのに、とても大きく
地震で街も全く変わってしまったのが
悲しく、そのつなみで東京電力ではなく電力会社
ました。

この何日かの出来事で私は今もひよんで
います。何ヶ所も駆けとしました。ダンボー
ルの家に住みました。旅館にも往きました。
今は復讐住たくに併んでいます。今年や。と
原町に帰ります。

でも帰れるはまなのに、すっごくさみしい
しかたないです。原町に帰れば、大好きなお
じいちゃん、おばあちゃんがいるのに、今ハ
る学校の先生やお友だちとはなれてしまうか
らです。

いつかは帰えると言われていたけど、もう
すぐ帰えらなければいけないことに私の気持ち
がついでしません。地震がながったから
こんなに震えにならなかつたのがなあと思ふ
てます。この気持ちは知ってほしいです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 鈴木 菲叶 年齢 9歳 職業・学校名 福田小学校

東日本大震災から今年の3月でもう5年が																			
たち、復興も進み震災の影響で住めなくなっ																			
た町も、復興作業をしてくれていて人々のお																			
かげで少しづつではありますが、人が戻って																			
来て前のような生活をおくれるようになって																			
きました。新地町は、つまりで馬鹿が流されて																			
電車が通れないじょうたいでしたが、復興作																			
業が進んでもう少しで前にのように電車が通る																			
ことができるようになるそうです。きょ年、																			
福田小学校の全校生でこうじけんばの様子を																			
見るための天文台にかざる絵をかきました。																			
わたしは、その絵をかく時に、																			
「復興作業をしてくれている人々にもっとか																			
んばってほしいな。」																			
という思いでかきました。わたしは、もっと																			
多くの方がもといた町へ帰れるように、復																			
興作業が早く進んでほしいと思います。」																			

匿名希望

東日本大震災があり、たまに震えます
いつも震えます。たとえば3月12日まで、
今からです。本当のところはいなま
ちがつをみんながまたのひさみしだす。
大切な思い出が残ります。
大切な思い出で、うれしかった。今は三
年になります。まだ少しよく覚えています。
うれしいです。されいいです。

これからまた震えに慣れようとしている
五人をほんたで、このい人が多い時、
何人いんかんのことをおもい出しますか。
私は、こんなuate-71の下にいくことがあります。
私は、とてもいいです。

また、つづきの時に、どうあるべきか
えんじてます。自分の見たい方に振り向か
所の人にはじめているとおかしくなるよりは、い
いですね。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 茂元 馬介 年齢 8歳 職業・学校名 福田小学校

ぼくが4さいの時、東日本大震災は起きました。ぼくの住んでいる家のすぐそばまでつなみが来て、いつも遠くにいたぼくにして川田へまや畠を飲みこんで行きました。地震の車内やけいこうの窓がこわくて、夜はねがながおもふませていました。

地震からもうすぐ5年になります。ぼくの家の前に、毎日ダンプカーが毎日作業する人たちの車が通ります。毎日工事をしているのも、主に通りにはなりません。地震がつづけてある、という間伐町がこちまたの年に5年たってもかうこうではないのを見て、一から町を作るの、て、大変な人がいると思いました。

今の日本中からたくさんの人がこうの手伝いに来てくれたり、ようえんしたりしてくればれます。たくさんの人がぼくたちを見かけたわけですので、もともと、この町にできるよらに、新地域になっていくみたいです。

東日本大震災から今年で何年になります
 ぼくは、そのくらい小さいかったときまで、
 4歳でほいくし上にかよっていました。いく
 んかあ。たとこのことは、あまりおぼえて
 ません。けれど大人たちがみんながんば
 うしていいぼくもなんだかこわいなと思
 っていました。が父さんやお母さんとすこしで
 も座はれるのが、かあんでもとをあいかけて
 いました。ぼくのまことにたくさんのたても
 のがこわなかりつながらされたりしまし
 た。
 親友町はいま、どんなことがあったのが少
 ない、たのみたいにもともどっこいいるけれど
 あのときのこわがた悪いは、あまれられない
 ことあります。あのとき、たくさんの人がぼく
 たちをたすけてくれたりといき立ちもあす
 ぎないよかったです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 佐藤 葦一郎 年齢 9歳 職業・学校名 福田小学校

10.92

東日本大震災以来毎年、今年の、3月11日、5
年に毎年甚だか。
しかし毎年毎年またまたこの厄が止まら
叫んで、駆け出されては止まら
もう少し、内地から、車で来た物乞ひ、廻遊
二年半で10。
遊びにとどろき、耳鸣りが止まら
寒いからでせゆ、梅雨でも止まら
まだまだ止まらぬ、おかさんたちの
二年半、ひとい風を吹かせた。
今までは海水浴場、海水を洗う。
それが、2月まで止まら
どうひいきみでいたる、海水を
木が大形の倒れで、2
火事で、火事で、そこへ運びてや
火事で、2月まで止まら
海水を海水を洗う。
海水を海水を洗う。
海水を海水を洗う。

(20文字 × 20行)

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 山崎 大貴 年齢 9歳 職業・学校名 不属 小

しんさいの時は、保育所にいました。少し																			
ユカガ、左のをおぼえています。食べものが																			
なかなか、手に入らなくて大変でした。水道																			
がんがはれつしてしまりました。一番つらか																			
たのは友だちと連らくがとれなくて、さみ																			
しい想いをしました。																			
あれから5年过去了。で、しんさい前と変																			
わらな生活をしています。ただ、しんさい																			
の記おくをどんどん去って、いくまい生じ																			
た。ごそ決して分かれではないけど思ひ																			
ます。																			
今は海の方もきれいにかねずいで、新しい																			
緑道が駅をこらからさまるで聞いています。																			
これからは、駄馬えにショッピングモールや																			
商店がいなどを作って明るくて、にぎやかな																			
町にしたいです。																			

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 茂和早 須田 純年齢 9歳 職業・学校名 福田小

ぼくは、東日本大地震の時、ぼくは、仙台のようちえんにいました。やラちゃんのつくえでお絵かきをしていましたが大きな地震が来てぼくは、机の下にがくれました。その大きな地震でたくさんのたて物が壊れたりたくさんの人々が死んでしまいました。ぼくは、そのせいでおこった時、どうやらふうに上げたりすれば大丈夫かを考えてみたのです。今、しんせいでげんはつがはくはつしてほうしゃのラガとんでひがいがおまじた。大さなみとくらうくらうのフネがたしげんいつもぼくはつしたがくつなみは、すごく大きいつなみだと分かりました。これからも大きな地震がおまたら何をするばいいが考ふたないです。今、がくゆくてもできなくなつたがくがくやくもできるよろに元どおりになつて早く海で遊びたいです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 佐藤未悠 年齢 6歳 職業・学校名 福島小学校

大震災からの復興への想い																			
大震災から、4年今日から立ちました。大震災で、みんなでいぬまはんげんをひさが。																			
大震災では、大きくなづなが大きくてはとんどの人がなくなくなりました。こし玉いました。																			
それでは今までと変わらしくは、泣けました。昔を																			
昔をかこつと思いました。大震災から4年																			
今日からまたいいしんぐいびくに立った人																			
もいます。樂しく元気でかんぱりました。																			
東日本大震災からの立ち直りへの想い。																			
東日本大震災、はやく立ち直りにしました。																			
たけど、それでもかんぱり立った人をいました。																			
のびれどさんじかんぱり立った人をいた。																			

(20文字×20行)

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 東日本大震災 年齢 10 歳 職業・学校名 福田小学校

1096

以下は東日本大震災からの復興への想いは、
 いしんがきてみんながにげてびううもわれて
 つたみをきてそのもあ、こちてきてあがない
 とかも、たからほくは、そんじいしんとか
 なみをまもってしてかんじようなものをつ
 く、てくれたらいいなどあも、こます。たと
 えばつなみがきてあんせんひたい場所が
 あ、たらそこににげればあんせんでつなみが
 うまくしてしててんぱうだいかわ、たらい
 いなとふもいます。あといしんからもまつ
 てもらへるところもも、たりいいちとおもい
 ます。いしんがくるとそのもたあれてい
 やんわれてあるといからそんじいしんから
 まも、てくれらじやんとかどうううとかほくは
 これ、たらいいなとおもいます。た、てびし
 がきたら車ひびううをとあってもたいいじ
 ひて車をも、といない人をあんせんごとられ
 てじしんからまとってくれるからです。ほく
 は、そういうところがあ、たりいいなとお
 も、てれます。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 佐藤さくら 年齢 10歳 職業・学校名 福島小学校

ぼくは、1月17日のころに東日本大震災
 いがおこりました。震じてても、またく
 こがります。いよいよみせかながされてま
 した。ほんとにわかっています。おばあち
 ゃんのところにいたりたくなりました。そこでお
 せせがながされているのかみえます。みんな
 おうていてどうすればいいかわからなかつた
 。お口うなぐで、おかりを2回おとす
 でいを。かときときじくがよきよだくこ
 わがを。もうそんなことさせないではい。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 佐藤 優 年齢 10 歳 職業・学校名 福田小学校

5年前にあ、たじしんぐあ、で今までいいつけ
 しんが起きるかねからなくてまだコワイです。
 そして、何ヶ月前に学校にどんぐりの木を植え
 ました。でもしかし、木が育ったとして、
 木がながま木を家にまでにけま木ばかりだ
 ビクし上と黙っていました。け木じも、そん
 うしば、ハリ思つていつもコワイから、まゆい
 うことは、思ひ出しても思つてあります。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙

氏名 林 みづ

年齢 10 歳 職業・学校名 福島の小学校

しくさいへ福島には自分達の町に帰れずにはか
 れつじゅうたんにくらす人がたくさんいます。
 徒々ヶ月と少しくて、ぐるがたとうとしています
 す。4年もたった今でもいままでに、りきれ
 ない人がいます。これに、つ波で家を失く
 した人も、たくさんいます。福島だけでなく、
 宮城県にも自分の家に帰れない人達が、つ波
 で家を失くした人がたくさんいます。
 岩手では金道が止ま、たりして、帰れない人
 大人もいました。

今後進むべき未来は、自分達の町に帰れるま
 せに暮らすことのできる未来でありたいです。

「東日本大震災からの復興への想い」応募用紙
氏名 めぐり こうじ 年齢 10歳 職業・学校名 福田小学校

ぼくは、2011年3月11日は、まいしく
よにりってきました。地しんがきてすごくこ
わかったります。でも先生たちが助けてくれま
した。ありがとうございます気持ちでした。それ
で最初は、福田小学校の体育館にひなんしま
した。そのあと、津波がきてげんばがよく
はつして、ぼくたちはぐんま県と、
山形県になりました。

これからは、ぼくはせいももと高くしてほ
しいです。それでつなみがまた生き、ぼくは
それが中もってほしいです。またいよいよ立つ
をねがうといいます。